



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 山陽特殊製鋼株式会社  
 コード番号 5481 URL <http://www.sanyo-steel.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(氏名) 武田 安夫  
 (氏名) 菅野 申一  
 配当支払開始予定日

TEL 079-235-6005  
 平成27年11月30日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	78,857	△6.8	6,201	90.1	6,193	89.4	3,940	55.2
27年3月期第2四半期	84,647	8.1	3,262	△18.4	3,269	△18.3	2,538	0.7

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 2,295百万円 (△18.6%) 27年3月期第2四半期 2,818百万円 (△44.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	24.44	—
27年3月期第2四半期	15.74	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
28年3月期第2四半期	193,023		114,794		59.0
27年3月期	202,243		113,644		55.8

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 113,911百万円 27年3月期 112,797百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	3.00	—	7.00	10.00
28年3月期	—	6.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

当社は、定款において9月30日(第2四半期末日)および3月31日(期末日)を配当基準日と定めておりますが、3月31日(期末日)を基準日とする配当予想額は未定であります。(「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」欄をご参照ください。)

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	170,000	△0.9	11,500	25.4	11,500	18.1	7,500	14.5	46.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	167,124,036 株	27年3月期	167,124,036 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	5,902,234 株	27年3月期	5,871,797 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	161,241,428 株	27年3月期2Q	161,301,597 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて当社グループで判断したものであります。予想には、様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおください。(業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。)

3月31日(期末日)を基準日とする配当につきましては、事業環境の先行きが不透明であるため、現時点では具体的な金額は未定であります。配当予想額につきましては、今後の事業環境を見極めつつ検討を行い、開示が可能となった時点で速やかにお知らせいたします。

## 【添付資料】

### (目次)

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
参考資料	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期（平成27年4月1日～平成27年9月30日）におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀による金融緩和を背景として、景気は緩やかな回復基調で推移いたしましたが、企業の業況感は、一部にやや慎重な動きがみられました。また、海外経済は、中国および新興国の一部に弱い動きがみられました。

特殊鋼業界におきましては、主要な向け先である自動車業界や建設機械業界の生産減や在庫調整などにより、前年同期に比べ、需要は低い水準で推移しました。

このような中、当社グループの当第2四半期の売上高は、販売数量が前年同期に比べ減少したことや鉄スクラップサーチャージ制度の適用に伴う販売価格の低下などにより、前年同期比57億90百万円減の788億57百万円となりました。経常利益につきましては、販売数量は減少したものの、原燃料価格の低下、減価償却費の減少やコストダウンの実施などにより、前年同期比29億23百万円増の61億93百万円となり、ROS（売上高経常利益率）は7.9%（前年同期は3.9%）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比14億2百万円増の39億40百万円となりました。

セグメント別の売上高および営業損益の状況は、次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高につきましては、セグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

#### 鋼材事業

当第2四半期の販売数量が前年同期に比べ減少したことなどにより、売上高は前年同期比55億76百万円減の703億49百万円となりました。営業利益は、販売数量は減少したものの、原燃料価格の低下、減価償却費の減少やコストダウンの実施などにより、前年同期比19億23百万円増の43億9百万円となりました。

#### 特殊材事業

当第2四半期の販売数量が前年同期に比べ減少したことなどにより、売上高は前年同期比1億86百万円減の40億2百万円、営業利益は、販売数量は減少したものの、円安等の効果により、前年同期比88百万円増の8億39百万円となりました。

#### 素形材事業

当第2四半期の販売数量が前年同期に比べ減少したことなどにより、売上高は前年同期比10億23百万円減の86億77百万円、営業利益は前年同期比98百万円減の7億45百万円となりました。

#### その他

子会社を通じて情報処理サービス等を行っており、当第2四半期の売上高は前年同期比46百万円増の8億11百万円、営業利益は前年同期比0百万円増の16百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末の総資産残高は、売上債権、たな卸資産、投資有価証券の減少などにより、前期末比92億19百万円減の1,930億23百万円となりました。

負債残高は、仕入債務、借入金の減少などにより、前期末比103億70百万円減の782億28百万円となりました。

純資産残高は、その他有価証券評価差額金は減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより前期末比11億50百万円増の1,147億94百万円となりました。

この結果、当第2四半期末におけるD/Eレシオ（純資産残高に対する有利子負債残高（現預金残高控除後）の割合）は0.24（前期末は0.29）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後につきましては、わが国の景気が緩やかに回復していくことが期待される一方で、新興国経済の減速影響、特殊鋼業界における国際競争の激化や主要需要業界における在庫調整の長期化などもあり、当社グループをとりまく事業環境は、引き続き楽観を許さない状況で推移するとみられます。

こうした中、当社グループといたしましては、非価格競争力の強化に向けた取り組みに一層注力いたしますとともに、需要動向に即した生産の実施やコストダウンの徹底など内部努力を重ね、需要家ニーズに的確に対応した高品質の特殊鋼を安定供給できる事業体制の構築へ向けてグループの総力を挙げて取り組んでまいります。

以上を総合的に勘案し、平成28年3月期通期の業績予想につきましては、平成27年4月30日に公表させていただいた数値を据えおくことといたします。

(注)業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて当社グループで判断したものであります。予想には、様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおきください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）および「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更および少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間および前連結会計年度については、四半期連結財務諸表および連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項（4）、連結会計基準第44-5項（4）および事業分離等会計基準第57-4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	20,009	20,887
受取手形及び売掛金	49,195	45,608
電子記録債権	3,127	3,596
商品及び製品	9,810	9,215
仕掛品	23,347	18,513
原材料及び貯蔵品	13,546	13,943
その他	2,256	2,697
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	121,286	114,455
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	38,116	36,760
その他(純額)	22,170	23,055
有形固定資産合計	60,286	59,816
無形固定資産		
投資その他の資産	956	1,050
固定資産合計	19,713	17,700
固定資産合計	80,956	78,567
資産合計	202,243	193,023
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,533	10,977
短期借入金	34,437	31,222
未払法人税等	3,062	1,942
賞与引当金	2,028	1,950
役員賞与引当金	97	57
その他	11,115	11,545
流動負債合計	66,274	57,696
固定負債		
長期借入金	18,785	17,322
役員退職慰労引当金	87	85
退職給付に係る負債	552	585
その他	2,899	2,539
固定負債合計	22,324	20,532
負債合計	88,598	78,228

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	20,182	20,182
資本剰余金	22,596	22,597
利益剰余金	64,171	66,983
自己株式	△1,812	△1,829
株主資本合計	105,137	107,933
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,294	2,531
為替換算調整勘定	1,808	1,952
退職給付に係る調整累計額	1,556	1,494
その他の包括利益累計額合計	7,659	5,978
非支配株主持分	846	882
純資産合計	113,644	114,794
負債純資産合計	202,243	193,023



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	84,647	78,857
売上原価	74,738	66,324
売上総利益	9,909	12,533
販売費及び一般管理費	6,647	6,332
営業利益	3,262	6,201
営業外収益		
受取利息	21	23
受取配当金	89	103
補助金収入	-	316
為替差益	271	-
その他	101	92
営業外収益合計	483	535
営業外費用		
支払利息	272	194
持分法による投資損失	124	252
その他	79	96
営業外費用合計	476	544
経常利益	3,269	6,193
特別利益		
土地売却益	273	0
投資有価証券売却益	633	-
特別利益合計	907	0
特別損失		
固定資産除売却損	228	188
特別損失合計	228	188
税金等調整前四半期純利益	3,948	6,005
法人税、住民税及び事業税	1,385	1,873
法人税等調整額	2	164
法人税等合計	1,388	2,038
四半期純利益	2,560	3,966
非支配株主に帰属する四半期純利益	22	26
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,538	3,940

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	2,560	3,966
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	650	△1,763
為替換算調整勘定	△368	108
退職給付に係る調整額	23	△62
持分法適用会社に対する持分相当額	△47	45
その他の包括利益合計	257	△1,671
四半期包括利益	2,818	2,295
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,834	2,259
非支配株主に係る四半期包括利益	△16	36

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	鋼材	特殊材	素形材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	70,679	4,188	9,701	84,569	78	84,647	—	84,647
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,245	—	—	5,245	686	5,932	△5,932	—
計	75,925	4,188	9,701	89,815	764	90,580	△5,932	84,647
セグメント利益	2,386	750	844	3,981	16	3,997	△735	3,262

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない情報処理サービス事業等であります。  
 2. セグメント利益の調整額△735百万円は、棚卸資産の調整額△763百万円およびセグメント間取引消去28百万円であります。  
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	鋼材	特殊材	素形材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	66,120	4,002	8,677	78,800	57	78,857	—	78,857
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,228	—	—	4,228	754	4,982	△4,982	—
計	70,349	4,002	8,677	83,029	811	83,840	△4,982	78,857
セグメント利益	4,309	839	745	5,894	16	5,910	291	6,201

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない情報処理サービス事業等であります。  
 2. セグメント利益の調整額291百万円は、棚卸資産の調整額268百万円およびセグメント間取引消去23百万円  
 あります。  
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 参考資料

## 平成28年3月期 第2四半期決算発表

## 1. 当第2四半期の業績と通期の予想

(単位：百万円、%)

	当第2四半期	前第2四半期	増減額	増減率	通期	前期	増減額	増減率
	(実績)	(実績)			(予想)	(実績)		
売上高	78,857	84,647	△5,790	△6.8	170,000	171,495	△1,495	△0.9
営業利益	6,201	3,262	2,939	90.1	11,500	9,169	2,330	25.4
経常利益 (ROS)	6,193 (7.9)	3,269 (3.9)	2,923 (4.0)	89.4	11,500 (6.8)	9,735 (5.7)	1,764 (1.1)	18.1
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,940	2,538	1,402	55.2	7,500	6,547	952	14.5
設備投資	4,147	3,856	290	7.5	10,500	7,176	3,323	46.3
減価償却費	4,502	4,680	△178	△3.8	9,500	9,826	△326	△3.3

(参考) 四半期業績推移

(単位：百万円、%)

	27年3月期					28年3月期	
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期	4-6月期	7-9月期
売上高	41,966	42,681	43,543	43,303	171,495	40,840	38,016
営業利益	1,948	1,313	2,896	3,010	9,169	3,297	2,904
経常利益 (ROS)	1,750 (4.2)	1,519 (3.6)	3,536 (8.1)	2,928 (6.8)	9,735 (5.7)	3,435 (8.4)	2,757 (7.3)
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,690	848	2,257	1,751	6,547	2,273	1,667

## 2. 当第2四半期の経常利益増減要因 (対前年同期)

(単位：億円)

増 益 要 因		減 益 要 因	
1. 原燃料価格	29	1. 販売数量・価格・構成	16
2. 変動費のコストダウン	11	2. 連結子会社の利益減	2
3. 固定費の減少	7		
計 (A)	47	計 (B)	18
		差引 (A) - (B)	29